

ワークショップ要旨

科学基礎論学会  
日本科学史学会  
IUHPST/DHST-DLMPST HaPoC(\*)

共同主催

現代生活と社会の **Computing・Algorithms** 環境を考  
える：コンピューティングの現代歴史学と哲学の視点から

6月16日 WS の最新情報告知ページ url: [https://abelard.flet.keio.ac.jp/HoPoC-workshop\\_202406](https://abelard.flet.keio.ac.jp/HoPoC-workshop_202406)

(関連する6月14日サテライト WS url: [https://abelard.flet.keio.ac.jp/satellite-workshop\\_202406](https://abelard.flet.keio.ac.jp/satellite-workshop_202406))

提題者

HaPoC: **Henri Stephanou** (Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne, コンピューティングの哲学)

日本科学史学会: **杉本舞** (関西大学, コンピューティングの歴史学)

特定質問者

科学基礎論学会: **村上祐子** (立教大学, 情報・AI 哲学)

科学基礎論学会: **直江清隆** (東北大学, 技術哲学)

オーガナイザー

科学基礎論学会(Discussion Co-Coordinator 兼任): **岡田光弘** (慶應義塾大学) **大塚淳** (京都大学)

日本科学史学会: **杉本舞** (関西大学)

HaPoC(\*): **Alberto Naibo** (Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne)

(\*)HaPoC: 国際科学史技術史科学基礎論連合(IUHPST)/科学史技術史部門(DHST)・科

## 学基礎論部門(DLMPST) InterDivision Commission for History and Philosophy of Computing

[サテライトワークショップ 6月14日]

本テーマに関するサテライトワークショップが大会前日 6月14日金曜日 16:00-19:30に早稲田大学戸山キャンパスで開催されます。HaPoCからの Stephanou 氏のほか、日本科学史学会及び科学基礎論学会から登壇者を迎えて討論いたします。サテライトワークショップはオンライン参加も可能となる予定です：to be confirmed]

6月16日 WS の最新情報告知ページの url: [https://abelard.flet.keio.ac.jp/HoPoc-workshop\\_202406](https://abelard.flet.keio.ac.jp/HoPoc-workshop_202406)

6月14日のサテライト WS の最新情報告知ページの url: [https://abelard.flet.keio.ac.jp/satellite-workshop\\_202406](https://abelard.flet.keio.ac.jp/satellite-workshop_202406)

いずれも5月26日に開設予定です。

6月16日の本ワークショップ英語名称

“Considering the Computing・Algorithmic Environments of our Lives and Society from the viewpoints of history and philosophy of computing”

急速に変化し続けるコンピューティング・アルゴリズム環境に取り囲まれた私たちの生活と社会の諸問題について、2021年度大会シンポジウムを引き継いで議論します。今回のワークショップでは、コンピューティング環境の発展的変化が社会にどのような影響を与えるかをコンピューティングの哲学、コンピューティングの歴史学、および関連分野の観点から議論します。“Automation”に関わる諸問題を手がかりのひとつとしてお二人の提題者に考察していただきます。(アブストラクトは下にあります。)

2021年度大会シンポジウムではIUHPST/DLMPST(科学史技術史・科学基礎論連合/科学基礎論部門)との共同主催の形式で、computing・algorithms環境における公平性・公正性・透明性の問題を議論しました。コンピューティングの歴史学と哲学の視点に重点を置く今回のワークショップでは、日本科学史学会及び、DHST-DLMPST InterDivision Commission for History and Philosophy of Computingの協力を得て、これらの両組織とともに3組織共同主催形式で開催するに至りました。本ワークショップでは上で触れましたようにコンピューティング・アルゴリズム環境がもたらすAutomationと社会との関係について特に検討されます。(その他の歴史的・哲学的諸問のいくつか(例えばAIと哲学の問題)については、サテライトワークショップで議論されます。)本ワークショップ使用言語は英語です。二人の提題者のAbstractsは別紙の通りです。

(科学基礎論学会側オーガナイザー岡田光弘・大塚淳)